

講義コード	515100701	
講義名	環境教育	
(副題)		
開講責任部署	幼児教育科 (短大)	
講義開講時期	前期	
基準単位数	2	
時間	0.00	
代表曜日	木曜日	
代表時限	4時限	
科目分類名	教養科目	
科目分野名	B群	
対象学部・年次	短期大学部・1～2年	
必須/選択	選択	
担当教員		
職種	氏名	所属
専任教員	青木 章彦	指定なし
専任教員	教務委員会 (短大)	指定なし

授業の概要

授業の概要

幼児を対象とした環境教育を体験を通して学ぶ。

体験学習法に基づいた体験型の学習スタイルである。教室だけでなく、プレー室や屋外も授業の場となる。また、散歩を題材に、指導案作成の基礎も学ぶ。

授業の方法

①プレゼンテーションの方法

授業では、板書と配布印刷物、ICTを活用する。また、DVD教材なども見る。

キャンパス内をフィールドに講師が、幼児向けの環境教育の実演を行う。

②授業形態

グループワークを行う。

キャンパス様々な幼児向けの環境教育を体験し、体験を通して環境教育についての理解を深める。

様々なアクティビティを通して、幼児と環境のかかわりを理解する。

グループワークを行い、発表を行う。

③アクティブラーニング

アクティビティ（グループ学習、体験学習）、グループワーク、発表（プレゼンテーション）などを行う。

ICTを用いた発表を行う。

④課題に対するフィードバックの方法

体験学習については、体験の後に解説を行う。

プレゼンテーションには、ルーブリック評価を行う。

授業の到達目標及びテーマ

アウトドアブームと言われながら、表面的なオートキャンプやバーベキューにとどまっているのが、日本のアウトドアライフの現状である。そこで、本講義は身近な環境でより深い自然体験を得るための知識と技術を身につけることを目的とする。

将来、自分の子どもを育てたり、幼児教育の現場で働くであろう学生諸君には、子どもたちに「センス・オブ・ワンダー」（自然の神秘さに目をみはる感性）を伝えるすべを学んでいただきたい。

到達目標については、学習成果における②知識・技能、③実践力と実務能力、④人間性と協働性が該当する。特に③、④を重視する。

この授業は、幼児教育科のディプロマ・ポリシーの「1.諸領域（人と自然・人と社会・人と文化・言語・情報・キャリア形成）の学問分野における基礎的知識を持っている。」と「4.幼児教育の知識・理解に基づいた幼児教育の方法や技術を修得している。」を達成するための科目である。

授業計画表

回	担当教員
第1回	ガイダンス センス・オブ・ワンダーと自然体験
第2回	仲間づくりのアクティビティ1 ボールを使って
第3回	仲間づくりのアクティビティ2 フラフープを使って

第4回	仲間づくりのアクティビティ3 風船を使って
第5回	仲間づくりのアクティビティ4 身体を使って
第6回	レイチェル・カーソンとセンス・オブ・ワンダー
第7回	自然のアクティビティ1 室内でネイチャーゲーム
第8回	自然のアクティビティ2 自然の色探し フィールドビンゴ
第9回	自然のアクティビティ3 フィールドパターン 自然の顔探し
第10回	自然のアクティビティ4 自然の顔探し 森の展覧会
第11回	キャンパス探検 幼児向けの散歩道と遊びを探す
第12回	キャンパスの散歩道1 ラフスケッチ
第13回	キャンパスの散歩道2 下書き
第14回	キャンパスの散歩道3 清書
第15回	キャンパスの散歩道4 指導案作成 授業のまとめ

授業時間外の学修

毎回、授業の最後に復習課題を伝える。次の授業までに復習をすませしておくこと（所要時間90分）。また、同時に、次回の授業範囲を伝えるので、事前課題を学習すること（所要時間90分）。

実務経験の有無

ディプロマポリシーとの関連

①幼児教育者観	②知識・技能	③実践力と実務能力	④人間性と協調性
	○	◎	◎

ルーブリック

評価項目	優秀 (excellent)	平均 (average)	途上 (developing)	未達 (unachieved)
理解度	授業内容を100%理解しており、授業内容を超えた自主的な学修が行えていると認められる	授業内容をほぼ95%程度理解しており、自主的な学修も少し行えていると認められる	授業内容の理解はほぼ75%程度であることが認められる	授業内容の理解は70%以下と判断できるため、レポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている
課題解決能力	他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができるとともに、解法が定まらない他者に的確なアドバイスができる	基本的に他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができる	参考資料を参考にしたり他からの支援を少し受けながら自身の能力で課題を解くことができる	参考資料を参考にしたり他からの支援を受けたとしてもなかなか自身の能力で課題を解くことが難しいので、できるだけ一緒に課題解決ができるよう支援している
調査する力 (予習も含む)	自ら進んで予習範囲を越えて調べるとともに、それを他者に説明することができる	定められた予習範囲について自分の力で調べることができる	定められた予習範囲について調べてはいるが、その理解にはあいまいな点が多く、不十分な部分がある	定められた予習範囲について調べられない。もしくは内容が不十分である
レポート力 (復習も含む)	テーマについて、授業で紹介した方法、もしくはそれに類する独自の手法を使った分析が十分になされている	テーマについて、授業で紹介した方法で分析が十分になされている	テーマについて、授業で紹介した方法で分析がなされている	テーマについての分析がなされていない

成績評価法 (表形式)

	評価基準	備考
定期試験	40%	期末試験で、授業内容全般の理解度を評価する。
	10	

小テスト等	%	確認テスト及び授業態度を評価する。
成果発表	10%	発表を評価する。
授業への貢献度		
レポート	40%	「キャンパスの散歩道」の指導案を評価する。
その他		

課題へのフィードバック方法

定期試験や小テストの結果について	課題（レポート等）について	模擬授業、プレゼン、発言等について
その都度解説、講評する	その都度解説、講評する	その都度解説、講評する

ICTを活用した双方向型授業の内容

等 ム 用 用	チャット	クリッカー、アンケート、小テスト ビデオ会議システム 掲示板の活 メール等の活
------------------	------	--

アクティブラーニングの割合

総授業時間数の30～60%程度のアクティブラーニングである

アクティブラーニングの内容

書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
グループワークのディスカッションやディベート（議論の場と時間） プレゼンテーション コメントシートの活 小テストや授業内レポートの活 調べ学習・調査の活	実験観察・実習 フィールドワーク	授業前レポート（予習） 授業後レポート

教科書

レイチェル・カーソン 『センス・オブ・ワンダー』 新潮社

参考書

『ネイチャーゲーム〈1〉』 ジョセフ・B.コーネル 柏書房 ¥1,680
『3歳からの自然体験ゲーム』 ジャクリーヌ ホースフォール 柏書房 ¥1,890

SDGsとの関連

に う	4. 質の高い教育をみんな 15. 陸の豊かさを守ろ
--------	-------------------------------

特記事項等

①実務経験のある教員
特になし

②ナンバリング

LNA1102, LNA1202

③オンライン授業の実施方法

Teamsによる教材提供、リアルタイム授業、小テスト、レポート等、また、ハイブリッド式授業を行う。

④その他の特記事項

特になし

学生へのメッセージ

幼児向けの環境教育アクティビティを通して、「センス・オブ・ワンダー」を一緒に磨いていきましょう。

研究室（訪問先等）

中央研究棟2階 224研究室

火・水・木・金が出講日です。直接、研究室を訪ねてください。

電話番号

028-667-7111 (代)

授業用E-mail

aoki@sakushin-u.ac.jp

成績評価法

①試験	40%	期末試験で、授業内容全般の理解度を評価する。
②小テスト等	10%	確認テスト及び授業態度を評価する。
③成果発表	10%	発表を評価する。
④レポート	40%	「キャンパスの散歩道」の指導案を評価する。